

横田基地における演習等の実施について

1 演習の名称

- サムライ即応監査（S R I：Samurai Readiness Inspection）

2 日程

- 令和元年10月28日（月）～11月8日（金）
- 24時間体制で実施予定（一部、早朝、深夜に実施）

3 内容

- 実施に伴う航空機の運用
 - ・ 11月4日（月）夜～5日（火）早朝にかけて、通常の運用時間帯（0600～2200）外での運用の予定あり。
- P A S、G B S及び煙幕等の使用
 - ・ 現時点で、P A Sを11月6日（水）午前3～4時に使用する予定。
 - ・ 現時点で、G B S及び煙幕等については使用の予定はない。
- 1週目は最小限（準備段階）の訓練、2週目は本格的な訓練を予定している。

4 その他

- 演習終了の通報を行う予定。
- 演習等の予定については、諸事情により変更される場合がある。

5 北関東防衛局における対応

- 北関東防衛局から米軍に対し、本演習においては、日米合同委員会合意の遵守に努めるとともに、航空機運用及びP A S使用、特に運用時間外の使用に当たっては、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう最大限の配慮を申し入れた。

（参考）

- ・ S R I：Samurai Readiness Inspection（サムライ即応監査）
有事における即応態勢の維持強化及びORE*に対する監査。
※ORE：Operational Readiness Exercise（運用即応演習）
仮想戦闘環境における基地の機能テストであり、テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応態勢をとることを訓練するもの。
- ・ P A S（Public Address System）：パブリック・アドレス・システム
以前は、ジャイアントボイスと呼んでいたもので、大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ G B S（Ground Burst Simulator）：グラウンド・バースト・シミュレーター
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。